

令和2年度地域振興基金を活用した区民活動助成制度の審査結果について

(1)目的

品川区地域振興基金を活用し、区内で公益活動に取り組んでいる区民活動団体を対象に、地域の課題や社会的課題の解決に向けた事業に資金助成を行い、多様な公益活動の活性化を目指すとともに、活動団体の育成を図る。

(2)事業概要

区内で公益活動に取り組んでいる区民活動団体が、4月1日から翌年2月28日までに実施する事業に対し、資金助成を行う。

(3)申請

①スケジュール

説明会	令和2年4月14日（火）
事前相談	令和2年4月16日（木）～4月30日（木）
申請書類提出	事前相談終了後～4月30日（木）
第1次審査会（書類審査）	令和2年5月29日（金）
第2次審査会（面接審査）	令和2年7月13日（月）

②申請できる団体

- (i)品川区において公益活動を目的として活動している団体（町会・自治会、NPO法人、ボランティア団体等）であること。
- (ii)スタートアップ助成については、団体設立からおおむね5年以内であること。
- (iii)区民活動情報サイト（しながわすまいるネット）に登録している団体であること。
- (iv)品川区に主たる事務所または活動拠点を有すること。
- (v)3人以上で構成されていること。
- (vi)団体の運営に関する規則（定款、規約、会則等）が定められており、なおかつ、会計処理が適正に行われており、内容を提示できること。
- (vii)団体構成員相互の利益を図ることを目的とする団体（趣味サークル等）ではないこと。

他

③対象となる事業

- (i)品川区の地域課題や社会的課題解決のために取り組んでいる事業であること。
- (ii)品川区の地域づくりを目的とした事業であること。
- (iii)品川区民の福祉等の向上に寄与する事業であること。
- (iv)同一事業について、他の制度による助成を受けていないこと。
- (v)同一事業について、平成29年度以前に本制度による助成を受けていないこと。

他

(4)審査方法

「地域振興基金活用推進会議」（審査会）による書類審査、面接審査を経て決定。

- ① 審査委員：7名（学識経験委員1名、有識者委員2名、公募委員2名、区職員2名）
- ② 審査基準：申請事業の内容、金額について次の基準で審査を行う。
 - (i) 事業の目的が明確であるか、具体的に示されているか
 - (ii) 地域ニーズや地域課題、社会的課題を具体的に把握し示されているか
 - (iii) 多くの区民にとって有益な、公益性のある事業目的となっているか
 - (iv) 事業の内容が具体的で、目的と整合したものになっているか
 - (v) 実施体制や責任体制が明確であり、実施内容と組織体制が整合しており、継続的な事業実施が期待できるか
 - (vi) スケジュールが具体的で、実施可能な計画になっているか
 - (vii) 事業目的に合致し、成果が具体的に(数値、指標、状態など)示されているか
 - (viii) 事業を遂行することにより、団体の自立・成長・能力向上が期待できるか
 - (ix) 実現可能性の高い予算で、収支のバランスがとれ、費用の使途は事業目的に対し妥当か
 - (x) 積算根拠が具体的かつ妥当に記載されているか

(5)助成金額について

①助成の種類

- (i) スタートアップ助成（品川区区内において活動の立ち上げを支援する）
助成対象額の4分の3以内で上限30万円
- (ii) チャレンジ助成（品川区区内において活動の継続・発展を支援する）
助成対象額の3分の2以内で上限50万円

②対象経費 謝礼、消耗品費、印刷費、使用料、人件費等

(6)予算 5,000千円

(7)審査結果

申請：6事業

① 選定事業5事業（スタートアップ助成2事業、チャレンジ助成3事業）

	事業名	申請団体	助成額 (総事業費)
1	【スタートアップ助成 2年目】 みんなでつくる親子ひろば「そとぼ～よ！」@文庫の森	(特非)そとぼ一よ (代表理事：本道 良子)	177,000円 (528,484円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
① 自然と関わる外遊びを通して、子どもの自己肯定感を育み、「子どもの遊び、学び、育ち」の意味や大切さを広く伝えていく。			
② 文庫の森で月2回金曜日に乳幼児親子対象の屋外型親子広場を開催する。			
③ 外遊びを乳幼児期から体験する活動を通じて、人が自分らしく豊かに成長できるまちづくり、社会形成に寄与する。			
2	【チャレンジ助成 2年目】 美容ボランティア人材養成事業	(特非)プラチナ美容塾 (理事長：伊藤 文子)	116,000円 (181,342円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
① 美容ボランティア講座、その後のボランティア体験を経て、地域ボランティア活動の活発化に寄与する。			
② 高齢者を中心に、美容講座やボランティア講座を開催し、技術を習得した後、実際に高齢者施設で美容ボランティア体験をする。			
③ 講座受講者に対し、自分が必要とされていることへの気づきを促し、生きがいを感じてもらう機会となる。また、地域へのボランティア活動へつなげることで、地域共生社会へ寄与できる。			

3	【チャレンジ助成 2年目】 楽しいiPadライフを始めよう！～重 度心身障害の方も一緒に～	(特非)ICT救助隊 (理事長：今井 啓二)	310,000 円 (565,680 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ① 障害を持つ人の生活の質の向上のために、ICTを活用した、難病患者や重度障害者のコミュニケーション支援を行う。 ② コミュニケーション支援ができる家族や支援者に対して、iPadやICT機器の機能や使い方を学ぶ講習会を実施する。 ③ 障害者のコミュニケーション支援の必要性を周知できる機会を持つことで、今後さらに相談へとつなげていける。また参加者同士のつながりが持て、支援者の輪が広がる。			
4	【スタートアップ助成 3年目】 第五回『健康講話』	品の輪～品川区リハビリテー ションネットワーク～ (代表：伊藤 重忠)	60,000 円 (81,580 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ① 医療、保健、福祉、リハビリテーションについての講話を通して、健康長寿の知識を伝達していく。 ② 一般区民向けに、リハビリテーション専門職として提供できる「自立していく為に必要な健康についての知識・実践方法」を講演する。 ③ 参加者は健康長寿についての知識を有することができる。さらに、参加者には講話の内容を地域に伝達してもらう工夫をし、地域での講話活動につなげる。			
5	【チャレンジ助成 3年目】 みんな DE 楽しく落語ミューニケーシ ョン	(特非)品川こども劇場 (理事長：巻島 淳子)	242,000 円 (414,144 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ① 落語を通して、考え方や想像力など、子どもの成長に必要な力を育てる。 ② 品川区内の子どもを対象に、落語に関連するものづくりワークショップと人形劇を実施し、身近な落語を提供する。 ③ 落語を通して、子どものコミュニケーション力を高める。また、親子や地域、異年齢における子どもの交流を図ることができる。			
合計			905,000 円 (1,771,230 円)

②不選定事業：1事業（チャレンジ助成1事業）

[面接審査]（1事業）

	事業名	申請団体
1	【チャレンジ助成 3年目】 シニアサロン事業	特定非営利活動団体
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ① 高齢者の健康寿命を延ばすために、社会参加の機会を提供する。 ② 高齢者を対象として、毎月1回区内各施設でシニアサロンを開催する。講話は毎月テーマを設定し、自団体や協働団体、もしくは外部の専門家が担当する。 ③ 高齢者の行動範囲が広げ健康寿命延伸に寄与する。また地域事業への関心を高めることができる		
[不選定理由] ・2年度にわたり助成してきたが、今回の申請内容には当該団体と協働団体の会員だけに限定されない、より多くの区民に開かれた事業という点において、改善が見込めると判断できなかったため、不選定とする。		

(8)今後の予定

①助成金交付

8月下旬

②公開報告会

令和3年1月29日（金）区役所第三庁舎6階講堂